

## 神戸市地域公共交通活性化協議会（準備会） 議事要旨

【開催日時】平成28年3月1日（火）10:00～12:00

【開催場所】神戸市役所2号館2階2022会議室

【出席者】委員29名

【議事の内容（主な意見交換の内容）】以下のとおり

## ○委員

- ・総合交通計画での交通の将来像の議論から、網形成計画の具体的な施策に話が飛びすぎている。
- ・「公共交通政策の主な取り組み方針」の「1. 都心での公共交通中心のまちづくりの推進」は、都心の話に限らず市全域の話ではないかと思う。都心だけしかしないのかという印象を受ける。都心だから賑わいとかそんな話が前面に出た説明をした方がいい。

## ○委員

- ・課題の設定として差し迫った課題があるというよりは、今後のまちづくりのなかでどのように公共交通を利用していくかが課題ではないか。
- ・鉄道が増えて路線バス・タクシーが減っており、人の居住自体が鉄道駅に集中し、鉄道から離れたところは魅力がなくなっている。選択肢として、鉄道駅に集中させるという考え方と、既存の山麓部の住宅地も維持させるという考え方に分かれる。上位の意思決定をはっきりしておかないと、対策は決めづらいのではないか。

## ○委員

- ・公共交通の現状・課題の中で、高齢者の外出率が増えて、自由目的の移動も増えているという分析があったが、高齢者にもアクティブシニアといわれる層と近隣の買い物にも困っている生活弱者に位置付けられるような方に2極化される。高齢者のなかでも、対象を分けて考えていく必要がある。
- ・今後、各地域から公共交通の充実についての要望が増える。支援プロセスとして、支援方法や居住者との連携、事業者とのマッチングなどをきめ細やかに考えていく必要がある。

## ○委員

- ・長田、兵庫をはじめとして、各区ともに高齢化が進む中で、南北は坂道が多く移動が大変である。また、南北の交通網が十分ではない。もう少し充実をさせてほしい。
- ・バスがどこからどこに走っているのかわからない。バス路線の状況がわかる地図をつくるなど、市民の利用の促進にむけて、市民への広報を充実するべき。

## ○委員

- ・北区、西区、垂水区などでは不便であるという意見が多くある。
- ・坂バスでは2か月に1回、地域で利用状況を話し合っている。地域で利用に向けて協力していないとコミュニティバスは成り立っていかない。今度、神鋼病院まで路線を伸ばすことになり便利になったが、一方で路線が長くなると運行間隔も長くなり不便にもなる。コミュニティバスは短時間で小さい範囲を周るのが重要ではないかと考える。

## ○委員

- ・居住されるところから働かれるところに公共交通を利用して移動する場合、鉄道駅から離れたところに住まれる方はバスを利用される。そうした時に、一番重要になるのは鉄道とバスの連携である。今後、どのように連携を進めるかが重要になる。

#### ○委員

- ・ポートライナーは神戸の玄関口である神戸空港と三宮をつなぐ役割を果たしていかないといけない。利用者が三宮まで出た際に、他の鉄道やバスとの乗継、観光案内所との連携などを進めることで、利用者ニーズに応じていくことが、公共交通の役割を増していくことにつながる。

#### ○委員

- ・神戸電鉄粟生線は別途粟生線活性化協議会がある。エリアによって交通特性・地域特性が異なることから、突っ込んだ議論になると粟生線活性化協議会での議論がメインになる。当協議会で作られる市全域を対象とした計画と粟生線活性化協議会の方で作られる計画のすみわけは。  
→（事務局）今後すり合わせをしていく必要はあるが、基本的には、粟生線活性化協議会で議論された結果を尊重して、全市の計画に盛り込んでいきたいと考えている。従って、議論としては、より地域に即した形で行われる粟生線活性化協議会での議論が先行すると思われるので、その状況を見て、整合する形で全市の計画を策定したい。
- ・このような協議会をすると、事業者と行政が中心となり供給者サイドの議論になる。計画はつくったが、利用促進になると行きづまることがある。例えば、ゾーン料金の話もあったが、利用者の視点で考えると、鉄道等の乗継による運賃負担の増加は重要な課題になる。

#### ○委員

- ・当社の取り組みとしては、H22年までに5,000人以上の駅のバリアフリー化を実施した。現在、H32年までに3,000人以上の駅のバリアフリー化を実施する予定。今年度は月見山駅のバリアフリー化事業を行っている。今後、3000人未満の駅のバリアフリー化について、課題として取り組みたいと考える。
- ・須磨駅の周辺について駅は平地にあるが、住宅地は山の上にある。急な坂道をお年寄りが苦勞して登られるのをよく見る。道幅が狭くコミュニティバスなどが入るのも困難な場所での支援、例えば、斜行式エレベーターの整備なども考えてもいいのでは。

#### ○委員

- ・網形成計画にまちづくりとの関係。特に、コンパクトシティとの関係をもう少し盛り込んだ方が良い。交通の不便地があるから便利にするということだけでいいのか。この数年、他の自治体が苦勞してコミュニティバスを走らせたが、乗る人が少なく、財政負担も大きく、やむを得ずバス路線を廃止している。居住を促進するために便利にする地域とある程度仕方がないところを分けて考えていく時代に入っており、網形成計画でもその点もふまえて考えた方が良い。
- ・網形成計画を考えるにあたっては、交通政策と福祉政策は分けて考える必要がある。網形成計画については、交通政策の部分を中心に策定し、福祉政策は別の計画で策定するべきである。
- ・市民の方が自ら参加し、公共交通を守り育てていくという意識が重要であるという考え方を網形成計画に位置付けることができればいい。

#### ○委員

- ・鉄道は市境で切れるものではなく、ネットワークという観点でみると市を超えて鉄道が走り、線路が繋がっているという視点で見えていく必要がある。
- ・現状、この辺が不便という視点ではなく、生活利便の施設とそこまでのネットワークの維持という観点があった方がいい。特に、神戸は都心の部分と都心以外の部分で違う。都心以外の地域で不便を感じる方を少なくするかという視点で見れば、施設までのルートをいかに確保し続けるかが大切。
- ・バスと鉄道の棲み分けは事業者間では難しいので、自治体を中心になって、バス・鉄道会社の明確な役割分担と存続の方針を示して頂きたい。

#### ○委員

- ・神戸市のなかでも西北神地域と阪神間で大きく状況が違うということを改めて感じた。何かできることがあればと思うが、まずは色々勉強させていただきたい。
- ・地域、居住者のための公共交通という視点になると思うが、観光都市としてこれから発展していくために、外から来る人への交通網、交通案内という観点がもう少しあってもいい。

#### ○委員

- ・鉄道事業は初期投資で多くの資本を投下している。今後人口減少が進む中で、そのインフラを活かしていくためには、一定の利用がないと維持していくことができないので、地域のまちづくり、ベースの需要をどのように維持していくかが、地域の足を支える上でも大事なことではないか。

#### ○委員

- ・計画の目標年次の位置づけ、理屈立ての整理が必要ではないか。

#### ○委員

- ・北区八多町での取り組みについては、特にこの地域は自治会長が非常に熱心に取り組まれていることから実験が実現できた。
- ・各地域に課題はあるが、特に、田園地域での課題解決が早急に求められている。市と連携しながら、やる気のある地域には協力させていただく。

#### ○委員

- ・当社では、乗車人員は平成3年をピークに減少が続いている。一方で、走行キロの方は年々増加するという非効率な状況が進んでいる。
- ・当社でも、利便性の向上については取り組みを進めている。ICカードの導入やバスロケーションシステムの導入について取り組みを進めている。
- ・バス事業者の課題として、公共交通を担う人材の確保が難しいと認識している。

#### ○委員

- ・神戸市は広いので地域によって課題が違う。地域ごとに便利な交通網を作っていかなければならないと思う。
- ・また、利用者に公共交通を利用して頂く意識づくりも施策として考えていく必要があると思います。

#### ○委員

- ・公共交通の利用促進の取り組みの観点にタクシーがない。住民のニーズに対応するためには、

公共交通全体でとらえていく必要がある。特に、タクシーはドアツードアの乗り物であり、どこでも行くことが可能である。特に、市街地の地域コミュニティ交通支援では、タクシーが貢献できる部分大きいと思う。タクシーを公共交通機関として十分な認識して頂き、取り組んで頂きたい。

- ・また、タクシー事業者の代表も交通事業者として参加させて頂きたい。

#### ○委員

- ・インバウンドにとって分かりやすい公共交通の利用環境の整備が必要である。バスと鉄道の乗継、多言語での表記、観光地までのアクセス・観光地間でのアクセスの表記などについても、網形成計画の中に取り込んでいく必要がある。

#### ○委員

- ・網形成計画では公共交通の維持や利用促進が大きなテーマになっているが、まちづくり側からのアプローチも必要である。計画を今後検討するにあたっては、公共交通の部署だけでなく、まちづくりの部署とも連携・情報共有をはかりながら進めて頂きたい。

#### ○委員

- ・今後、議論が本格化するなかで、現状の公共交通サービスのレベルの共有が必要である。ダイヤが適切か。バス停の環境が整っているのか。利用者への情報提供の発信状況などの観点が非常に重要である。その上で、将来的には網形成計画の目標とするのが良い。場合によっては、教育や観光、地域振興の観点も計画に落とし込んでいくと良い。また、ネットワークの観点では、拠点と目的地を整理すると議論のポイントが絞られて良い。

#### ○委員

- ・課題ごとの時間軸を意識したスケジューリングがあれば良い。
- ・公共交通を補完する意味で、まちづくりの観点かもしれないが、バス停や駅、タクシー乗り場などに行くための歩行空間の改善といった視点も入れておく必要がある。

#### ○委員

- ・交通は移動手段というだけでなく、基幹交通であればまちの背骨であり、駅は生活の拠点である。公共交通を考えるにあたっては、福祉、医療、経済、観光、都市計画を総合的に考えていく必要がある。

#### ○委員

- ・要望であるが、「南北」、「都心」などの用語が人によって想定されているものが違うので、その点を整理して欲しい。

(以 上)